

けやき

第31号(2011年秋号)

発行日：平成23年9月

発行者：心健導場主宰 天明

住所：〒167-0052

杉並区南荻窪2-7-12

TEL：03-3334-2527

宮崎県出身。深層心理学・哲学・東洋医学を研究し、1992年にその集大成<3と97>の理論を著書「いのち」に著した。現在、企業、団体、カルチャースクール等でトータルヘルスマネジメントの講演活動を行う。東京荻窪にて主宰する「心健導場」では、どこに行っても解消されなかった心身の悩みを持つ方から、自己能力を開発したい方に、「こころ」と「からだ」のカウンセリングを行っている。

天明 てんめい
心健導場主宰



見えないものを意識すること

いま、まずお伝えしたいことは、
天明がこれまで幾度となく、この会報や講演会で申し上げてきました、
「見えないものを意識しなければならない時代に入った」
ということです。

第一には、あの震災の津波で原発事故が発生したことです。見えない放射能、放射線を意識しなければならなくなりました。そして地震やその他の災害です。このところの雨の降り方は異常です。自分のところだけは大丈夫といえる場所が日本ではどんどんなくなっているのではないのでしょうか。前号でも申し上げたように、「自分の身は自分で守る」しかないのです。

そのためには、見えないものを意識するよう感性を高め、そして自分の内に秘めている能力に気付くことです。これからどんなに大変なことが起ころうと、「自分でなんとかできる」という、ココロと身体をつくりあげていくことです。

21世紀の日本が大事にすべきことは

産業革命以降、近現代という時代を生きてきた人たちは、豊かになるのがあたりまえで、もっといい生活、もっと贅沢したい、もっとお金がほしいことがいいことだとされてきました。

しかし、どうでしょう。

お金がお金を生む金融界ではバブルが発生して、浮かれて踊った挙句、バブルが崩壊したことで今度は多くの人たちが苦しむ結果になりました。そして今度はIT・ネットでバブルが作られ、またそれがダメになると、今度は不動産でと、もっと、もっとでやってきました。これでいいのでしょうか。

いま、世界を引っ張ってきたアメリカがおかしくなって、これからどうしたらいいのかわからなくなっていますが、21世紀にこれだけは大事だと言えるものがあります。

それが、「日本の道徳」です。

これをここで一度、しっかりとお伝えしておかねばならない時期が来たと思います。

今日の日本を見渡してみますと、「自分がこうなったのは誰が悪いのか」とか、「これは国のせいだ」ということになっています。子供たちにしても親の言う事を聞かなくなっていて、DVなどの事件が起きるようになりましたが、これは間違いなく、「大人や親が問題だから」です。



これまでは親がしっかりと「躰(しつけ)」をしてきました。これが、家庭内での教育でした。
これをベースにして社会は成り立ってきたのです。
なぜ親がしっかりと「躰」を子供にできたのでしょうか。それは、「道徳」がしっかりと教えられていたからです。いま、二宮金次郎さんが見直されていますし、「教育勅語」も日本国内では軽視されていますが、海外で、特にアメリカでは評価が高まっています。

目上の人には敬う

親孝行をする

人には礼節を尽くす

これまで面々と受け継がれてきた日本人の生き方、考え方がここにはあるからです。
この点をもう一度、現代に生きる日本人にしっかりと伝えていかねばならないと思います。



今回の3. 11、東日本大震災で日本は「大変」な事態に直面してしまいましたが、これは、「日本人がこれまであまりに有頂天になり過ぎたため」ではないでしょうか。

使い捨てが豊かさであると考えてきた時代。そして、豊かになるために「もっと、もっと」があたりまえの時代。それがどうでしょう。

節電の必要性からいまでは「不自由」をさせられています。

わたしたちの年代にはなんでもないことですが、若い人たちにはかなり「不自由」なことでしょう。とはいっても、世界と比べれば、日本はまだまだ豊かです。

ちょっと不自由になったからといって、それで不平、不満。

そうではありませんよ。

この不自由さがあたりまえなんです。いままでがおかしいのですから。



子どもを育てるのは、親としての勤めであり、義務です

政治も揺れ動いていますから、ここで一言、申し上げたいと思います。

いまの政治のやりかた、お金をばらまいて、自分達をいい様にみせたいというのは、もうナンセンスです。

「子ども手当」がその典型でしょう。

「子どもを育てるのは、親としての勤めであり、義務です」。

このあたりまえのことを無視して、国がお金を出して、面倒をみる。こんなことをするから、親がおかしくなって、様々な事故や事件を起こすのです。パチンコに熱中するあまり子供が車の中で亡くなったとか、子供に食べさせないで餓死させるとか。一昔前なら、「親失格」で、世間から冷たくみられるのが普通です。

それがいまは「逆」です。

昔は国全体が貧乏でしたから、親は食べないで将来ある子どもたちに食べさせましたが、豊かになって、しかも国が過保護にするから、もう甘えてしまっています。

そういう親がどんどん増えていることを情けなく思います。

これは、おかしい。声を大にして申し上げておきます。

本質的なことをお話すれば、子どもとは、夫婦が快楽の性行為をしたことで授かった命です。動物の交尾とは根本が違います。動物は強い子どもを残すために戦います。そして勝った者だけが交尾できるのです。

いまの人間はそうではありません。

それゆえ、大事なことを申しあげなければなりません。

「この快楽の裏側にはかならず責任がある」

ということです。

子どもを育てるのは、親としての当然の責務です。これが「基本の基」です。

それを何か事件があると、「国が面倒みていないからだ」とか、

「何らかの手当てが必要だ」としてしまふのは、大いなる間違いです。

そんなことをするから、親としての自覚・覚悟がなくなり、子どもを育てる責務がなくなるのです。



いまの国の政策は、政治家や役人のための点数稼ぎ。「頂く」「保護する」ばかりだから、「もっとちょうだい」となっています。本当は日本国民をダメにしている政策なのです。

なぜそうになってしまうのかは、「平等がいい」と思っているからです。

昔は「違い」「格差」があるのがあたりまえでした。

人より二倍、三倍と努力している人がしていない人と「同じ」ということ自体がおかしいと思いませんか。

このおかしいことがあたりまえとしてまかり通ってきたから、世の中全体がおかしくなってしまったのです。

「苦労はすべし」

親となった以上、これがあたりまえです。

何も言わずに苦労していれば、子どもはしっかりとその姿をみています。

親が何の苦労もせずに子どもばかりに苦労させるから、子どもは言う事を聞かなくなるのです。

「親がはたらいて、それで得たお金でやっていくこと」。

これが「基本の基」です。

天明の親の世代は、「働かざるもの、食うべからず」と教えてきました。あたりまえのことだから、きちんと子供に伝えてきたのです。

はたらかないで、ただ「頂く」だけはありえない

- ・たとえば、生活保護です。ほんとうに困っている人には必要ですが、まじめに働いても生活保護より少ない給与だから働かない方が楽に暮らせるという人がいます。
- ・働いてコツコツ貯めたお金を盗み、そのうえ、殺してしまう人
- ・親の年金を子どもが使う
- ・自分は食べても子どもには食べさせない親

それがそうではないこの現実には愕然とします。残念です。

もう一度、政治にモノ申す

水戦争がおきています。

国内の木材をこの震災復興のために使うと、山がよみがえり、水をたくわえる自然のダムになり、漁場が豊かになり、田畑もうるおいます。外国の木材を輸入するのは、誰かが利益をポッポできるからです。そろそろ国益（公のために）になることをしてください。日本は自然を敬い、農業、林業、漁業を大切にしてきました。

5年以内の休田は再生可能です。それ以上は畑にして食料自給率を上げることです。

農業ができなくなった被災地の方々に国が援助してこれらの土地を活かすことはできないのかと思います。

我が国の精密危機は世界一です。国の財産ですから、この中小企業はぜったいに守るべきです。

これからもっと経済的に「大変」になってきたほうが、本当に大事なことが見えて来ます。

貧乏であるほうが、人への思いやりの気持ちとか、互いに助け合いの気持ちになれるからです。

日本はこれから経済力が落ちていっても、その分だけでやっていけるようにすればいいだけのことです。なにも不安に思う事ではありません。

もういい加減、「もっと」「もっと」は捨てるべきでしょう。

工業化を目指して、お金、お金とやってきたことをそろそろやめる時でしょう。

自然を大事にする国として、もう一度出直せばいいではないですか。

きっとそのほうが人間らしい生き方ができるようになると思いますよ。

天明ブログもご覧ください。

<http://www.tenmei-keyaki.net/>



2011.10.1(土)～3日(月)

山梨・増富温泉

天明の「増富健康づくり塾(天と地の交流)」のおさそい

この5月からお2組の方がこの増富のラジウム温泉での「湯治療養」を始められました。この増富温泉の大きな特徴点は、3種類のかけ流しの源泉温泉を選べることです。

27度という「冷源泉風呂」、30度の「低源泉風呂」、そして33度の「温源泉風呂」の3種類で、40分程度、我慢せずにリラックスして入れる温度が選べるようになっています。

ラジウム温泉といえば、秋田の玉川温泉が有名ですが、この増富との大きな違いはこの温度です。そして標高の高さにあります。海拔830メートルと、ほぼ軽井沢と同じ高さにあります。これは、「いるだけで有酸素運動になる」(安保徹教授の話)とのこと。

今年は、みずがき山ふるさと振興財団がこの10月に「増富健康づくり塾・天と地の交流」を企画してくださいました。

自分の「免疫力」アップのためにぜひこのツアーにご参加ください。

新湯治プログラムのご案内

増富は深い森と山岳に育まれたわが国有数のホットスポットです。ここの豊かな“氣”を存分に享受して、こころと身体の悩みを解決しませんか。

天明健康づくり・心健導場の開講です。

新潟大学院教授・免疫学の世界的権威

10月1日には、安保徹教授の講演があります。

日時 2011年10月1日(土)～3日(月) 2泊3日
(10月1日から2日の1泊2日も可能)

宿泊 リーゼンヒュッケ

参加費 2泊3日:31,000円

1泊2日:17,000円(10/1-2のみ可)

韭崎駅下車・送迎あり 交通費各自負担

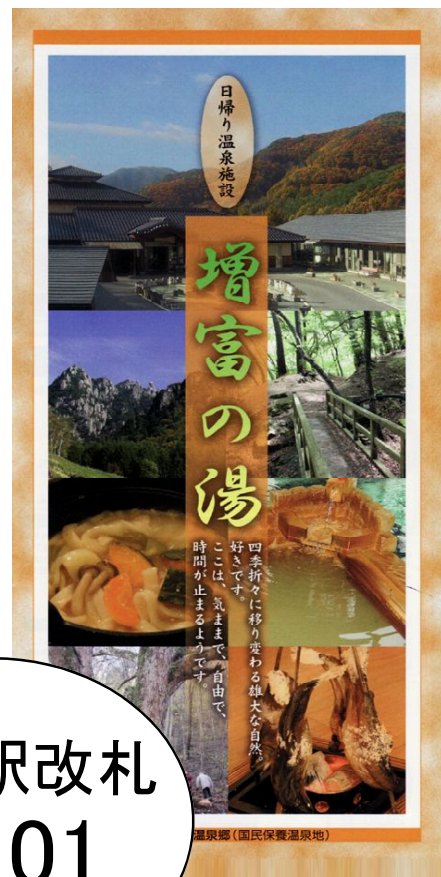
参加受付

主催 みずがき山ふるさと振興財団「増富の湯」
0551-41-1006 までお願いします。

協力 天明会 03-3334-2527

天明は30日に現地に参ります。

1日は10時01分韭崎着の電車に合わせてお迎えに参ります。



韭崎駅改札
10.01
集合

2011.9.10(土)-11(日) 登山ツアー、行います!!

みずがき山 (2230m) 参加者18名 往復7時間の登山です。

登山組

11日 5.30出発-9.45山頂-13.45登山口-増富の湯-16. 解散

散策組

11日 7.00パワースポットで氣功(みずがき山と金峰山の水が合流)-8.30朝食-9.30みずがき山自然公園へ-11.30増富の湯 昼食後 温泉三昧 登山組合流-16. 解散 韭崎駅に送迎

参加費

登山組10,600円 散策組8,500円 交通費 各自別途

オーストラリアのアデレードに行ってきました。英会話を学ぶ目的で出かけたのですが、結果的には「操法」のための訪問になってしまいました。日本では味わえない、素晴らしい体験をしましたので、みなさまにお伝えします。

アデレードはオーストラリアの南部に位置しています。日本からの直行便はなく、シドニーで一端乗り換えます。シドニーでは日本人観光客があふれていますが、そこからアデレードに行く便には誰もいません。日本語が通じるわけはありません。私がよほど困っているのに気付いたのでしょう。航空会社が一つの「プレート」をくれました。国際便から国内便に乗り換えるのにどこへ行けばいいのかを、ほとんどの言語で書いているプレートです。日本語も、中国語も、アラビア語までありますから、誰に訪ねても大丈夫。初めて国際便から国内便に乗り換える時の強い味方になってくれました。

この街はほんとうに素晴らしいところでした。街の半分が緑に覆われています。しかも、海が目の前ですから、大自然と共存している街です。とにかくビックリするのは、一日がなんと長いことか。東京だと一瞬で時間が流れ去ってしまいますが、ここではゆったりと時間が流れていきます。

そして魅力は自然だけではありません。ここに住んでいる人です。「トラム」という路面電車とバスが交通手段です。最初から三駅までは無料だとか、三時間までなら片道料金で往復できるとか、サービスが素晴らしいこともあります。たとえば、身体の不自由な人が降りようとしますと、運転手が手伝います。車いすを押してどこへかと案内してくれるのです。その間、結構な時間ですが、乗客は黙って待っているのです。日本ではありえない光景です。

そしてこの国に来て気付いたのは、ほんとうに金持ちと庶民との差がはっきりしていることです。

お金持ちはものずこい邸宅に住んでいます。ぜいたく品とよばれるものには高い税金がかけられています。一方、庶民はみじめな生活をしているかという、そうではありません。庶民にとっての強い味方は、すべてがレンタルで借りられるということです。だから、格差があるとしても、見た目には何ら変わらない生活をしています。

今回、「操法」で訪ねたのは、「オパール」で世界的な資産家のご夫妻で、交通事故の後遺症で不自由になったところを手当てするということでした。もう一人は、公認会計士ご夫妻で、ガンの再発予防(二度手術)と怪しの痛みをとるためでした。そしてお一人は、建築会社でトップ企業のご夫妻でした。奥様の病は精神的要因もあるため、一回の操法では難しく、また九月に行く予定です。

今回、計七人の手当てしてきましたが、「天明、ここに住みなさい。日本に帰らないで」と言われるほどに、みなさんに喜んで頂きました。

「またかならず来て下さい。お食事したりしましょう」と仰って頂きました。

この九月にもう一度、オーストラリアに行く予定です。

ご紹介下さった、池田様に感謝申し上げます。



宿泊したホテルから海に向けて桟橋が出ています



その桟橋から眺めた、オーストラリアの夕陽です。



泊まったホテル、夕陽の後にはお月様がでていました

オリーブの実 →
日本のものと比べて
粒の大きさが2倍です



↓見渡す限りの地平線です
が、全部オリーブ畑です





高知ライオンズクラブ

「美しい海いつまでも」 宮古ファンが海岸清掃

参加者たちが砂浜に打ち上げられたごみを拾い集めた
合同清掃＝16日、池間大橋近くのトゥイヤー浜

東京在住の宮古島愛好者で構成する「宮古島を想う会」（西原栄一会長）は16日、宮古ライオンズクラブ（高里俊夫会長）と合同清掃を行った。これまで西平安多崎などで実施してきたが、4回目となる今回は池間大橋近くのトゥイヤー浜で約30人が参加して海岸のごみを拾い集めた。

西原会長は「以前に比べて海岸のごみは大幅に減っている。これからもこの清掃活動を続けて、さらにきれいに」

4月14日から17日までの3日間、宮古島にゴミ拾いのボランティア活動に行ってきました。その時、掲載された新聞（宮古毎日新聞）の記事です。

天明・活動報告

2011年6月～2011年8月

- 6月 2日 天明講演会
6日 福岡でスポーツマッサージ研修（～9日）
18日 増富温泉へ 杉浦氏の湯治治療に同行（～19日）
19日 行徳先生（BE）一時中止のパーティー
20日 アーユルベダーへ シローダラー 息吹の会
22日 江見五育セミナー
23日 手足でマッサージ、イーマの会へ
25日 中津川・南木曾定期講演会（～26日）
28日 Kサロン

（操法） 4日、11日、12日、13日、14日、15日、16日、21日、28日、29日
（出張操法） 3日板橋、10日板橋、17日板橋、24日板橋、27日南木曾（7人）

- 7月 4日 歯科へ
7日 天明講演会
7日 日室氏 増富温泉へ 湯治へ（～8日）
10日 オーストラリア・アデレードへ（～22日）
18日 杉浦氏増富温泉へ湯治療養（～21日）
23日 原田アキさん・パーティー 時代おくれ
24日 地デジ テレビ切り替え
25日 川腰氏にアデレード報告
26日 アーユルベダーへ シローダラー 息吹の会
28日 日室氏 増富温泉へ 湯治へ（～29日）

（操法） 5日、6日、25日、27日、28日、30日、31日
（出張操法） アデレードにて 3家のご夫妻と池田様 7人
（遠隔操法） 28日 増富

- 8月 1日 手足マッサージ
2日 アフロデシアへ
3日 君のコンサートへ
4日 天明講演会
5日 船橋へ（PM5. 30～8. 10）
7日 シガクセミナーへ
9日 アフロデシアへ
14日 藤野様打ち合わせ
16日 グアムへ（～22日）
26日 けやき打ち合わせ
（有）ステラへ

（操法） 2日、3日、6日、9日、10日、13日、27日、29日、30日
（遠隔操法） 11日南木曾
（出張操法） 23日練馬順天 24日練馬順天

2011年 天明 講演の会

毎月第1木曜日は
「天明講演会」の日です

10月6日（木） 377回
昨日の我は今日の我にあらず

11月3日（木） 378回
自由とは自らを律して生きる

12月1日（木） 379回
人を相手とせず 天を相手とせよ

18:15受付開始 18:30～20:00終了予定
会場/明治記念館 東京都港区元赤坂2-2-23
TEL03-3403-1171

明治記念館
が会場です。

講演終了後は
懇親会も行っております。
ぜひご参加ください。

アクセス

- ・JR中央線・総武線【信濃町駅】下車、徒歩3分
- ・地下鉄 銀座線・半蔵門線・大江戸線
【青山一丁目駅】下車（2番出口）、徒歩6分
- ・地下鉄 大江戸線【国立競技場駅】下車（A1出口）徒歩6分